

2022年7月8日（金）
愛知県県民文化局統計課
地域経済グループ
担当 野々垣、北上
内線 2356、2357
ダイヤル 052-954-6109

この資料の内容は県統計課 Web ページで御覧になれます。
<https://www.pref.aichi.jp/toukei/>

愛知県における景気基準日付（景気の谷）の設定について

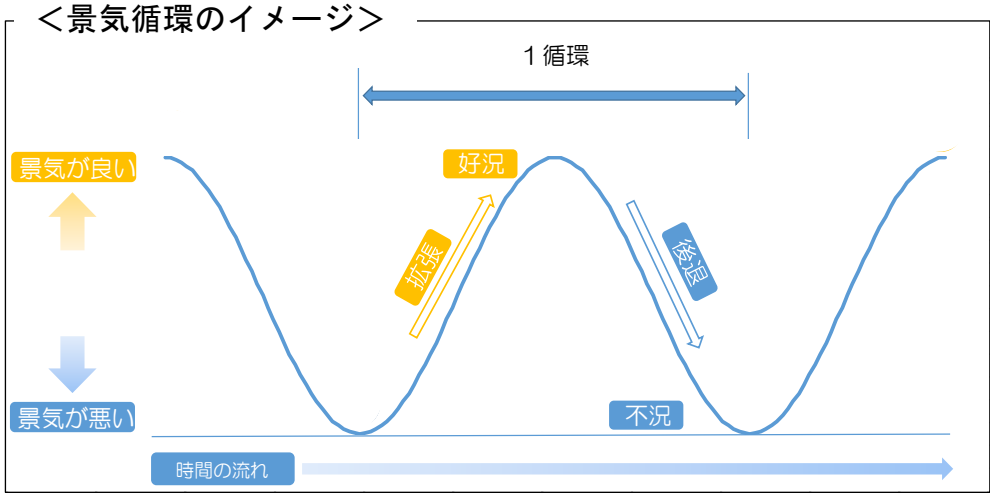
愛知県では、景気循環の局面判断や各循環における経済活動の比較などのため、景気の拡張・後退局面の転換点である景気基準日付（景気の山・谷）を設定しています。

今回、第16循環（2012年11月から始まる景気循環の期間）の「景気の谷」を、設定しましたので、お知らせします。

第16循環の「景気の谷」を2020年5月に設定(暫定)
～ 景気後退期間(景気の山から谷までの期間)は13か月 ～

このことにより、本県の景気は、「景気の山」と設定（暫定）した2019年4月以降、後退局面に入りましたが、2020年5月から、拡張局面に入っていることが明らかになりました。

なお、本県における第16循環の景気後退期間（景気の山から谷までの期間）は13か月であり、本県の過去の景気後退期間の平均となる18.6か月や、同循環における国の景気後退期間（2018年10月から2020年5月まで）の19か月と比較しても短くなっています。



1 景気の山・谷の設定方法

- ① 景気動向指数（一致指数）の採用系列からヒストリカルD I^{*}を作成する。
- ② ヒストリカルD Iが、50%を下回る直前の月を「景気の山」、50%を上回る直前の月を「景気の谷」の候補として算出する。
- ③ この候補について、国の景気の山・谷の設定状況や他の景気指標（愛知県景気動向指数、業況判断指数D I）も参考にして総合的な検証を行い、設定する。

なお、季節調整の再計算（季節要因による変動を取り除く調整作業）による遡及改定や景気判断の採用系列（指標）の見直し等に伴い、ヒストリカルD Iの値が変化する可能性があるため、次回の景気基準日付（景気の山）の設定（暫定）を行う際に、再検証を行ったうえで、確定となる。

【ヒストリカルD I】

	2019年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
景気基準日付				山								
1 鉱工業生産指数	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-
2 有料道路通行台数(大型車)	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-
3 投資財生産指数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4 所定外労働時間投入度(製造業)	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
5 有効求人倍率(学卒除、パート含)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6 百貨店・スーパー販売額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7 人件費比率(製造業)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
8 輸入通関実績	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
拡張系列数	4	5	5	5	4	3	3	3	3	3	3	3
ヒストリカルD I	50.0	62.5	62.5	62.5	50.0	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5

	2020年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
景気基準日付					谷							
1 鉱工業生産指数	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
2 有料道路通行台数(大型車)	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
3 投資財生産指数	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
4 所定外労働時間投入度(製造業)	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5 有効求人倍率(学卒除、パート含)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6 百貨店・スーパー販売額	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+
7 人件費比率(製造業)	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-
8 輸入通関実績	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-
拡張系列数	3	3	2	2	3	5	5	5	5	5	4	4
ヒストリカルD I	37.5	37.5	25.0	25.0	37.5	62.5	62.5	62.5	62.5	62.5	50.0	50.0

※ヒストリカルD I：景気基準日付の判定に用いられるもので、採用系列の個別指標ごとに山・谷を決めたうえで、山から谷に至る期間をすべて下降（マイナス）、谷から山に至る期間をすべて上昇（プラス）とし、月ごとに上昇（プラス）の系列数が全体に占める割合を算出したもの。

2 景気基準日付（景気の山・谷）の推移

<愛知県>

循 環	谷	山	谷	期 間		
				拡 張	後 退	全循環
第 5 循 環		1964年11月	1965年12月		13か月	
第 6 循 環	1965年12月	1970年6月	1971年12月	54か月	18か月	72か月
第 7 循 環	1971年12月	1973年12月	1975年5月	24か月	17か月	41か月
第 8 循 環	1975年5月	1977年1月	1977年9月	20か月	8か月	28か月
第 9 循 環	1977年9月	1980年2月	1983年2月	29か月	36か月	65か月
第 10 循 環	1983年2月	1985年5月	1987年4月	27か月	23か月	50か月
第 11 循 環	1987年4月	1991年6月	1993年12月	50か月	30か月	80か月
第 12 循 環	1993年12月	1997年5月	1999年4月	41か月	23か月	64か月
第 13 循 環	1999年4月	2000年12月	2001年12月	20か月	12か月	32か月
第 14 循 環	2001年12月	2007年10月	2009年3月	70か月	17か月	87か月
第 15 循 環	2009年3月	2012年4月	2012年11月	37か月	7か月	44か月
第 16 循 環	2012年11月	(2019年4月)	(2020年5月)	(77か月)	(13か月)	(90か月)

注 1 愛知県は1964年11月の第5循環の「山」から設定（全国は1951年6月の第1循環の「山」から設定）

注 2 第16循環の「山」「谷」は暫定である。

<全 国>

循 環	谷	山	谷	期 間		
				拡 張	後 退	全循環
第 5 循 環	1962年10月	1964年10月	1965年10月	24か月	12か月	36か月
第 6 循 環	1965年10月	1970年7月	1971年12月	57か月	17か月	74か月
第 7 循 環	1971年12月	1973年11月	1975年3月	23か月	16か月	39か月
第 8 循 環	1975年3月	1977年1月	1977年10月	22か月	9か月	31か月
第 9 循 環	1977年10月	1980年2月	1983年2月	28か月	36か月	64か月
第 10 循 環	1983年2月	1985年6月	1986年11月	28か月	17か月	45か月
第 11 循 環	1986年11月	1991年2月	1993年10月	51か月	32か月	83か月
第 12 循 環	1993年10月	1997年5月	1999年1月	43か月	20か月	63か月
第 13 循 環	1999年1月	2000年11月	2002年1月	22か月	14か月	36か月
第 14 循 環	2002年1月	2008年2月	2009年3月	73か月	13か月	86か月
第 15 循 環	2009年3月	2012年3月	2012年11月	36か月	8か月	44か月
第 16 循 環	2012年11月	(2018年10月)	(2020年5月)	(71か月)	(19か月)	(90か月)

注 第16循環の「山」「谷」は暫定である。